

数量総括表

工種	種別	細目	規格	単位	数量(合計/路線毎)										
					合計	10-8-7-1号線 No.0~No.1	10-8-7-1号線 No.1~No.2	10-8-7-1号線 No.2~No.3							
立坑工															
		鋼製ケーシング式土留工及び土工	φ2000	箇所	2	1	1								
			φ1800	箇所	1			1							
		鋼製ケーシング圧入掘削	φ2000	m	13.471	6.853	6.618								
			φ1800	m	6.252			6.252							
		底盤コンクリート		m3	8.7	3.1	3.1	2.5							
		圧入掘削設備	設置撤去	箇所	3	1	1	1							
		ケーシング引上		m	2.7	0.9	0.9	0.9							
		ケーシング切断		m	36.3	12.3	12.3	11.7							
		ケーシング溶接		m	24.6	12.6	6.3	5.7							
		鋼製ケーシング存置	φ2000	m	11.9	6.1	5.8								
			φ1800	m	5.6			5.6							
		仮設ケーシング	φ2000	箇所	2	1	1								
			φ1800	箇所	1			1							
		立坑排水													
		うわ水排水		箇所	3	1	1	1							
		スライム処理		箇所	3	1	1	1							
		排水運搬処理													
		泥水処理		m3	3.4	1.2	1.2	1.0							
		土工													
		残土処分		m3	50.19	18.53	17.79	13.87							
		鋼材スクラップ		t	2.60	0.90	0.90	0.80							
		埋戻	コンクリート	m3	17.21	6.90	6.52	3.79							
			流用土	m3	7.19	2.69	2.69	1.81							
		調整コンクリート		m3	0.50	0.25	0.25	0.00							

管 推 進 工 数 量 計 算 書

10-8-7-1 号線

(No.1 → 既設No.0)

低耐荷力泥土圧1工程式

工 種	計 算 式	単 位	数 量
路線延長		m	22.20
管体延長	$22.20 - \frac{1.20}{2} - \frac{1.20}{2} = 21.00$	m	21.00
推進延長	$22.20 - \frac{2.00}{2} - \frac{1.80}{2} = 20.30$	m	20.30
推進工			
管材料	VP-SSPS φ 200 (JSWAS K-6対応品)		
先頭管	VP-SSPS φ 200 L=1.0m	本	1
最終管	VP-SSPS φ 200 L=1.0m	本	1
標準管	$21.00 - 1.00 - 1.00 = 19.00$	本	19
マンホール用 可とう継手	推進管用(組立マンホール用)VP φ 200	組	2
硬質塩化ビニル管 推進工	低耐荷力泥土圧1工程式	m	20.30
機械器具損料	固定部 φ 200mm用	式	1
	変動部 φ 200mm用	m	20.30
スクレーコンヘヤ類 撤去工	低耐荷力泥土圧1工程式	m	20.30
添加材注入工	添加材の種類およびm当りの注入量は資料参照	m	20.30
発生土処分工	$\frac{\pi}{4} \times 0.216^2 \times 20.30 = 0.74$	m ³	0.7
立坑内布設工			
管布設工	$\frac{2.00}{2} - \frac{1.20}{2} + \frac{1.80}{2} - \frac{1.20}{2} = 0.700$	m	0.70
仮設備工			
坑口工	φ 200	箇所	1
既設マンホール坑口工	φ 200	箇所	1
鏡切り工	φ 200 1箇所当り鏡切り延長 1.2 m	箇所	2
推進設備等設置撤去	低耐荷力泥土圧1工程式	箇所	1
先導体据付撤去工	低耐荷力泥土圧1工程式 分割回収	箇所	1
推進設備等据換え	低耐荷力泥土圧1工程式	箇所	0
推進水替工			
推進用水替		式	1

管 推 進 工 数 量 計 算 書

10-8-7-1 号線 (No.2 ← No.1)

低耐荷力泥土圧1工程式

工 種	計 算 式	単 位	数 量
路線延長		m	49.40
管体延長	$49.40 - \frac{1.20}{2} - \frac{1.20}{2} = 48.20$	m	48.20
推進延長	$49.40 - \frac{1.80}{2} - \frac{2.00}{2} = 47.50$	m	47.50
推進工			
管材料	VP-SSPS φ200 (JSWAS K-6対応品)		
先頭管	VP-SSPS φ200 L=1.0m	本	1
最終管	VP-SSPS φ200 L=1.0m	本	1
標準管	$48.20 - 1.00 - 1.00 = 46.20$	本	47
マンホール用 可とう継手	推進管用(組立マンホール用)VPφ200	組	2
硬質塩化ビニル管 推進工	低耐荷力泥土圧1工程式	m	47.50
機械器具損料	固定部 φ200mm用	式	1
	変動部 φ200mm用	m	47.50
スクレーコンヘヤ類 撤去工	低耐荷力泥土圧1工程式	m	47.50
添加材注入工	添加材の種類およびm当りの注入量は資料参照	m	47.50
発生土処分工	$\frac{\pi}{4} \times 0.216^2 \times 47.50 = 1.74$	m ³	1.7
立坑内布設工			
管布設工	$\frac{1.80}{2} - \frac{1.20}{2} + \frac{2.00}{2} - \frac{1.20}{2} = 0.700$	m	0.70
仮設備工			
坑口工	φ200	箇所	2
既設マンホール坑口工	φ200	箇所	0
鏡切り工	φ200 1箇所当り鏡切り延長 1.2 m	箇所	2
推進設備等設置撤去	低耐荷力泥土圧1工程式	箇所	0
先導体据付撤去工	低耐荷力泥土圧1工程式 分割回収	箇所	1
推進設備等据換え	低耐荷力泥土圧1工程式	箇所	1
推進水替工			
推進用水替		式	1

管 推 進 工 数 量 計 算 書

10-8-7-1 号線 (No.3 ← No.2)

低耐荷力泥水1工程式

工 種	計 算 式	単 位	数 量
路線延長		m	78.70
管体延長	$78.70 - \frac{1.20}{2} - \frac{1.20}{2} = 77.50$	m	77.50
推進延長	$78.70 - \frac{1.80}{2} - \frac{2.00}{2} = 76.80$	m	76.80
推進工			
管材料	VP-SUSR φ 200 (JSWAS K-6対応品)		
先頭管	VP-SUSR φ 200 L=1.0m	本	1
最終管	VP-SUSR φ 200 L=1.0m	本	1
標準管	$77.50 - 1.00 - 1.00 = 75.50$	本	76
マンホール用 可とう継手	推進管用(組立マンホール用)VP φ 200	組	2
硬質塩化ビニル管 推進工	低耐荷力泥水1工程式	m	76.80
機械器具損料	固定部 φ 200mm用	式	1
	変動部 φ 200mm用	m	76.80
スクレーコンベヤ類 撤去工	低耐荷力泥水1工程式	m	76.80
添加材注入工	添加材の種類およびm当りの注入量は資料参照	m	76.80
発生土処分工	$\frac{\pi}{4} \times 0.216^2 \times 76.80 = 2.81$	m ³	2.8
立坑内布設工			
管布設工	$\frac{1.80}{2} - \frac{1.20}{2} + \frac{2.00}{2} - \frac{1.20}{2} = 0.700$	m	0.70
仮設備工			
坑口工	φ 200	箇所	2
既設マンホール坑口工	φ 200	箇所	0
鏡切り工	φ 200 1箇所当り鏡切り延長 1.2 m	箇所	2
推進設備等設置撤去	低耐荷力泥水1工程式	箇所	1
先導体据付撤去工	低耐荷力泥水1工程式 分割回収	箇所	1
推進設備等据換え	低耐荷力泥水1工程式	箇所	0
推進水替工			
推進用水替		式	1

立坑工 数量計算書(1/2)

立坑No.	ケーシング径	種別	地盤高	管底高	人孔深	立坑深	掘削深	圧入深	圧入掘削設備設置撤去(回)	引上長(m)	切断長(m)	底盤コンクリート(m3)	溶接延長(m)	うわ水排水工(箇所)	スライム処理工(箇所)	泥水処分工(m3)
			(m)	(m)												
No.1発進立坑	φ2000	両発進	1.810	-3.633	5.443	5.893	6.853	7.053	1	0.9	12.3	3.1	12.6	1	1	1.2
No.2発進立坑	φ2000	両到達	1.810	-3.398	5.208	5.658	6.618	6.818	1	0.9	12.3	3.1	6.3	1	1	1.2
No.3到達立坑	φ1800	両発進	1.810	-3.112	4.922	5.292	6.252	6.452	1	0.9	11.7	2.5	5.7	1	1	1.0
合 計												8.7	24.6	3	3	3.4

立坑工 数量計算書(2/2)

立坑No.	ケーシング径	立坑深(m)	ケーシング長(m)	上部余裕高(m)	ケーシング分割数	設置マンホール	掘削(m3)	調整コンクリート(m3)	埋戻し			アスファルト切断(m)	アスファルト取壊(m2)	残材処分(m3)	残土処理(m3)	鋼材スクラップ(t)
									コンクリート		流用土(m3)					
									埋戻し高(m)	体積(m3)						
No.1発進立坑	φ2000	5.893	6.10	0.093	2	2号	21.52	0.25	4.313	6.90	2.69	7.50	3.60	0.14	18.53	0.90
No.2発進立坑	φ2000	5.658	5.90	0.058	1	2号	20.78	0.25	4.078	6.52	2.69	7.50	3.60	0.14	17.79	0.90
No.3到達立坑	φ1800	5.292	5.50	0.092	1	2号	15.88	0.00	3.792	3.79	1.81	7.00	3.00	0.12	13.87	0.80
合 計							58.18			17.22	7.19	22.00	10.20	0.41	50.19	2.60

薬液注入工数量集計表 (1/2)

二重管ストレーナ複相式

(小口径推進)

施工箇所(立坑No)			推進管	推進工法	本数	地盤高	管底高	削孔長			土被長	注入対象土量		
								礫質土	砂質土	粘性土		礫質土	砂質土	粘性土
No.0既設立坑	10-8-7-1号線	下流側	VP φ 200	泥土	5	1.810	-3.700	0.000	6.519	0.000	3.802	0.000	12.037	0.000
No.1発進立坑	10-8-7-1号線	上流側	VP φ 200	泥土	5	1.810	-3.633	0.000	6.452	0.000	3.735	0.000	12.037	0.000
No.1発進立坑	10-8-7-1号線	下流側	VP φ 200	泥土	5	1.810	-3.613	0.000	6.432	0.000	3.715	0.000	12.037	0.000
No.2到達立坑	10-8-7-1号線	上流側	VP φ 200	泥土	5	1.810	-3.398	0.000	6.217	0.000	3.500	0.000	12.037	0.000
No.2発進立坑	10-8-7-1号線	下流側	VP φ 200	泥水	5	1.810	-3.348	0.000	6.167	0.000	3.450	0.000	12.037	0.000
No.3到達立坑	10-8-7-1号線	上流側	VP φ 200	泥水	5	1.810	-3.112	0.000	5.931	0.000	3.214	0.000	12.037	0.000
No.3到達立坑														
					合計	平均	平均	平均	平均	平均	平均	合計	合計	合計
					30	1.810	-3.467	0.000	6.286	0.000	3.569	0.000	72.222	0.000

薬液注入工数量集計表 (2/2)

二重管ストレーナ複相式

(小口径推進)

施工箇所(立坑No)			本数	注入率			緩結材注入比率			瞬結材 1本当り	緩結材 1本当り	総注入量	備考	
				礫質土	砂質土	粘性土	礫質土	砂質土	粘性土					
No.0既設立坑	10-8-7-1号線	下流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.1発進立坑	10-8-7-1号線	上流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.1発進立坑	10-8-7-1号線	下流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.2到達立坑	10-8-7-1号線	上流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.2発進立坑	10-8-7-1号線	下流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.3到達立坑	10-8-7-1号線	上流側	5	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	390.0	585.0	4,875		
No.3到達立坑														
小 計			合計	平均	平均	平均	平均	平均	平均	合計	合計	合計		
			30	36.0	40.5	28.0	1.5	1.5	1.0	2,340	3,510	29,250		

内径200mm

管渠布設工数量計算書 (土工)

路線番号	管種・管径	人孔番号	人孔種別	管体減長	路線延長	管体延長	土工数量														施工機械	
							掘削深	平均掘削深	掘削幅	平均掘削幅	平均埋戻高	現況舗装厚	路盤厚	舗装切断	舗装取壊し	ガラ処分	掘削土量 (V1)	碎石基礎 (V2)	碎石基礎 (A2)	埋戻土量 (V3) 流用土		残土処分 (V4)
																	BH0.28m ³	BH0.28m ³	BH0.28m ³	BH0.28m ³		BH0.28m ³
							下流 上流	H	B	D	t1	t2	L・2	L・B	(L・B)・t1	B・(H-t1)・L	<small>(0.306B-0.0333)・L1</small>	0.10・B2・L1	B・D・L	V1-V3/0.9		
	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³						
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 1	2号	0.60	49.40	48.20	1.44	1.30	0.85	0.73	0.85	0.04	0.10	98.80	41.99	1.68	45.44	7.98	2.89	31.70	15.27	BH0.28
		No. 2	2号	0.60			1.30		0.60													
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 2	2号	0.60	39.40	38.60	1.60	1.50	1.05	1.05	1.05	0.04	0.10	78.80	41.37	1.65	60.40	11.12	4.05	43.44	18.84	BH0.28
		No. 3	塩ビ	0.20			1.48		1.05													
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 3	塩ビ	0.29	4.20	3.46	1.48	1.40	0.87	0.74	0.95	0.04	0.10	8.40	3.65	0.15	4.23	0.57	0.21	3.05	1.31	BH0.28
		No. 4	1号	0.45			1.47		0.60													
合計					93.0	90.3								186.0	87.0	3.5	110.1	19.7	7.2	78.2	35.4	

内径200mm 管渠布設・管路土留工数量計算書 (材料)

路線番号	管種・管径	人孔番号	人孔種別	管体減長	路線延長	管体延長	掘削深	平均掘削深	管材料 (PRP φ200)				素掘	仮設工									
									リップ副管分岐用継手	片受けリップ直管	可とう継手	管布設延長		軽量鋼矢板土留			金属支保工			たて込み簡易土留			
														L=1000	L=4000		2.0	2.5	3.0	1段	2段		2.0
下流	下流	下流	L	L1	下流	H	L=1000	L=4000		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m			
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 1	2号	0.60			1.44			1													
		No. 2	2号	0.60	49.40	48.20	1.30	1.30		12.1	1	48.20	49.40										
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 2	2号	0.60			1.60			1													
		No. 3	塩ビ	0.20	39.40	38.60	1.48	1.50		9.7		38.60	39.40					39.40					
S10-8 -7-1	PRP 200	No. 3	塩ビ	0.29			1.48																
		No. 4	1号	0.45	4.20	3.46	1.47	1.40		0.9	1	3.46	4.20										
合 計					93.0	90.3				22.7	4.0	90.3	53.6	39.4						39.4			

塩ビ製小型マンホール数量計算書

路線名	人孔番号	地盤高	人孔深	流出管		流入管		立上管 立上管 m	立上管 m	インバート本体 φ200-φ300														内蓋	沈下 防止板	保護鉄蓋				密閉蓋			
				管種 管径	管底高	管種 管径	管底高			起点	中間	曲管								合流		落差 (ト`ロップ)				フ`インバート		T-25	T-14		T-8	T-2	
												15°	30°	45°	60°	75°	90°	45°	90°	DR	直管	90° 曲管	H= (m)			個							
				KT	ST	15°	30°			45°	60°	75°	90°	45°	90°	DR	直管	90° 曲管	H= (m)	個													
S10-8-7-1	S10-8-7-1-M1	1.81	1.382	PRP200	0.428			0.445	0.9		1													1	1	1							
計									0.9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0		

内径200mm

管渠布設工数量計算書 (土工)

路線番号	管種・管径	人孔番号	人孔種別	管体減長	路線延長	管体延長	土工数量														施工機械	
							掘削深	平均掘削深	掘削幅	平均掘削幅	平均埋戻高	現況舗装厚	路盤厚	舗装切断	舗装取壊し	ガラ処分	掘削土量 (V1)	碎石基礎 (V2)	碎石基礎 (A2)	埋戻土量 (V3) 流用土		残土処分 (V4)
																	BHO. 28m ³	BHO. 28m ³	BHO. 28m ³	BHO. 28m ³		BHO. 28m ³
							下流 上流	H	B	D	t1	t2	L・2	L・B	(L・B)・t1	B・(H-t1)・L	<small>(0.306B-0.0333)・L1</small>	0.10・B2・L1	B・D・L	V1-V3/0.9		
m	m	m	m	m	m	m	m	m ²	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³								
10-8 -7-1-1	PRP 200	No. 2	2号	0.60	40.00	39.11	1.54	1.40	0.87	0.74	0.85	0.04	0.10	80.00	34.80	1.39	40.26	6.48	2.35	26.01	15.83	BHO. 28
		No. 2-1	塩ビ	0.29			1.42		0.60													
10-8 -7-1-1	PRP 200	No. 2-1	塩ビ	0.29	40.00	39.51	1.42	1.30	0.85	0.73	0.75	0.04	0.10	80.00	34.00	1.36	36.79	6.54	2.37	22.65	15.71	BHO. 28
		No. 2-2	塩ビ	0.20			1.30		0.60													
合計					80.0	78.6								160.0	68.8	2.8	77.1	13.0	4.7	48.7	31.5	

塩ビ製小型マンホール数量計算書

路線名	人孔番号	地盤高	人孔深	流出管		流入管		立上管 立上管 m	インバート本体 φ200-φ300														内蓋	沈下 防止板	保護鉄蓋				密閉蓋		
				管種 管径	管底高	管種 管径	管底高		起点	中間	曲管							合流		落差 (ト`ロップ)					フ`インバート		T-25	T-14		T-8	T-2
											15°	30°	45°	60°	75°	90°	45°	90°	DR	直管	90° 曲管	H= (m)			個						
											KT	ST	15°	30°	45°	60°	75°	90°	45°	90°	DR	直管			90° 曲管	H= (m)					
10-8-7-1-1	NO.10 -8-7 -1-1 -M1	1.81	1.320	PRP200	0.490			0.445	0.9		1													1	1	1					
10-8-7-1-1	NO.10 -8-7 -1-1 -M2	1.81	1.200	PRP200	0.610			0.445	0.8	1														1	1	1					
計								1.7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	0	0		

